

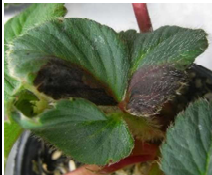



農林水産業競争力アップ技術開発

令和5年度新規研究テーマを決定しました

農林水産関係の試験研究機関が令和5年度から新たに取り組む研究テーマ11件
(実施期間: 令和5~7年度)を決定しました。

○新規研究テーマ予算: 25,289千円

農林水産業競争力アップ技術開発では、生産者の所得向上や地域活性化につながる新品種・新技術の開発を加速化するため、平成24年から生産団体をはじめ、広く県民の皆様から研究テーマを募集し、学識経験者等の評価をいただいた課題について研究開発を実施しています。

実施試験場名 / 研究テーマ		研究のポイント
農業試験場 TEL:0736-64-2300		高設栽培での糖度安定化と増収を可能とするための環境制御に応じた給液管理を確立し、マニュアル化する。 ・適正な日射比例式給液の開発 ・時期別の適正な給排液EC管理の確立
イチゴ‘まりひめ’高品質・多収に向けた環境制御時の効率的な養水分管理技術開発		
		炭疽病対策として、病原菌感染リスクの低い親株育成方法を確立し、マニュアル化する。 ・感染リスク評価に基づく親株育成時期の検討 ・感染リスクが低い時期の親株栽培管理手法の確立 ・薬剤による効果的な感染予防方法の確立
イチゴ‘まりひめ’の炭疽病対策		
暖地園芸センター TEL:0738-23-4005		品質不良莢・病害抑制のための温湿度制御技術を開発し、マニュアル化する。 ・品質不良莢・病害抑制のための温湿度条件の解明 ・温湿度制御手法の確立
ハウス実エンドウにおける品質不良莢・病害抑制のための温湿度制御技術開発 (農業試験場と共同研究)		
果樹試験場 TEL:0737-52-4320		ドローン散布向け果樹用の高成分肥料を開発し、自動航行ドローンを用いた傾斜地における施肥技術を確立する。 ・ドローン用肥料の開発 ・傾斜地園でのドローン肥料散布方法の確立と実証
傾斜地果樹園における省力的施肥技術の開発 (かき・もも研究所、うめ研究所と共同研究)		
		ドローンによるミカンハダニの夏季の防除体系を確立する。 ・各種殺ダニ剤のドローン散布による防除効果及び散布条件の解明 ・薬剤の高濃度混用による防除効果、薬害の検証
カンキツにおけるドローンを用いた夏季の防除体系の確立		
		高強力ポリエチレン繊維ネットと立木を利用し、軽量で設置容易な囲いワナを開発し、マニュアル化する。 ・新規囲いワナの開発・改良および捕獲効果の検証 ・安全性の高いシカ保定技術の開発
立木とネットを利用した軽量のシカ捕獲用囲いワナの開発		
		EU農薬残留基準値に適合した、実用性のあるサンショウの病害虫防除体系を確立する。 ・物理的防除技術等の有効性の検討 ・農薬残留基準値を超過しない収穫時期の解明
EUへの輸出に対応したサンショウの病害虫防除体系の確立		

実施試験場名 / 研究テーマ

研究のポイント

かき・もも研究所 TEL:0736-73-2274

カキ炭疽病の効率的防除対策の確立



カキ炭疽病の効率的な防除対策を確立する。
 ・発病リスクに基づく、発病残渣の簡便な処理方法の確立
 ・病原菌の菌種構成の解明、菌種に応じた有効薬剤の選定およびほ場での防除効果の解明

極早生「たねなし柿」の流通中に生じる早期軟化対策技術の確立



極早生「たねなし柿」の流通中に生じる早期軟化対策技術を確立する。
 ・1-MCPおよび有孔ポリ+防湿段ボールによる総合的な軟化対策の確立
 ・AIによる早期軟化果実の予測判別技術の開発

うめ研究所 TEL:0739-74-3780

温暖化に対応した梅干の高品質化技術の開発



温暖化に対応した新たな梅干のハウス干し方法を提示し、梅干の高品質化を図る。
 ・遮光、遮熱資材の利用が梅干品質に及ぼす影響
 ・乾燥時の温度および光強度の違いが梅干の機能性成分に及ぼす影響

水産試験場 TEL:0735-62-0940

アジアカエビの養殖技術の開発



アジアカエビの養殖技術を開発する。
 ・種苗量産技術の開発
 ・養殖技術の開発